

第 50 回神戸市勤労者福祉事業懇話会 議事要旨

- 1 日 時 平成 30 年 3 月 30 日（金）午前 9 時 55 分～11 時 25 分
- 2 場 所 神戸市役所 1 号館 23 階 1 2 3 4 会議室
- 3 出席者 板東 慧、秋武 秀俊、磯川 須美子、中島 栄吉、木村 文貴子
森下 徹、高木 貞治、北尾 眞理子（順不同、敬称略）
（事務局）
小椋担当部長、山出勤労市民課長、中村勤労福祉係長、壇、松田
- 4 傍聴者 1 名
- 5 議 題
（1）新中央区総合庁舎整備基本計画（素案）について
- 6 報告事項
（1）神戸市役所本庁舎 2 号館再整備基本構想（案）について
（2）その他、勤労者福祉事業等について
- 7 議事要旨
議題（1）新中央区総合庁舎整備基本計画（素案）について

【凡例】 □は委員の発言、○は事務局の発言

- 労働団体に対する減免措置等については、料金面での配慮も含め、ぜひ継続する方向で進めてほしい。
また、施設の名称について、事務局で検討中の案があれば紹介いただきたい。
- 昨日の中央区区民まちづくり会議では「中央区民センター」や「中央区民文化センター」などの名称を希望する声も出ているようだが、勤労会館を所管する立場としては勤労者の意見も尊重すべきと考えている。
- 利用率が非常に高い体育施設を磯上公園で整備するにあたり、どのような施設を想定しているのか。
- 勤労会館の体育館、生田文化会館の体育室共に 100%近い利用率であるため、現在と同等以上の規模は必ず確保しないといけないと考えている。
本庁舎 3 号館跡では困難にしても、磯上公園内においては、現在利用いただいている機能を十分に確保したいと考えている。
- 外国人スポーツクラブのクラブハウスは老朽化しているが、そのまま残すのか。それとも解体して新たな施設を建てるのか。

- 磯上公園内で外国人のスポーツ交流施設とあわせて体育館・体育室機能の整備検討を進めることで、できるだけ多くの市民ニーズに対応したいと考えている。
- 新たな文化施設においては、特定目的室を各1～2室配置すると記載しているが、これは20～30室程度確保する大中小の会議室の中に含まれるのか。
- 会議室20～30室とは別に、特定目的室を各1～2室配置するよう考えている。
- 磯上公園近辺は夜道が暗いので、整備にあたり照明を工夫するなど、徒歩利用者の安全面にも配慮していただきたい。
新中央区総合庁舎1階駐車場は、車輛出入りが周辺の混雑を招かないよう工夫してほしい。
また、なるべく各階に、多目的トイレを配置してほしい。
- 中央体育館のように地下駐車場を整備したり、体育館を南への人の流れを創出する上での神戸独自の目玉施設にしてはどうか。
また、東遊園地の再整備においては、高齢者が散歩できるような道を整備してもよいのではないかと。
- 共用エレベータの運用にあたっては、利用者にストレスが生じないように考慮してほしい。
- 機能や施設内容については、今後の社会構造の変化に伴い相当な流動要素が生じることも留意しておくべき。
- 磯上公園まで地下道を延長したりできないのか。

報告事項（1）神戸市役所本庁舎2号館再整備基本構想（案）について
特に質疑なし

報告事項（2）その他、勤労者福祉事業等について

- 勤労会館の機能が新中央区総合庁舎内の新しい文化施設として整備されたのちは、勤労会館としての予算上の位置づけも変わるのか。

- 新たな文化施設の管理費負担のあり方などは今後の検討課題となるが、勤労市民センターと区民センターのあり方について別途検討中であり、勤労会館を含め勤労者福祉施設の管理運営という形での整理ではなくなるのではないかと考えている。
また、勤労者福祉事業基金については、年々残高も減り続けている状況であり、今後一定のところで改修に係る予算に投じたのち、施設改修については一般財源を充てる方向で検討したいと考えている。
- 最近のシルバー人材センターの動向はどうか。年齢要件の拡大などはしないのか。
- 年齢要件や高齢者の生きがいづくり・社会貢献を主目的とする事業方針に変更はないが、派遣、職業紹介事業という就労要素の強い事業の実績も伸びている。
平成 28 年度の事業実績では、全国のシルバー人材センターの中で会員数、就業実人員、受注契約金額の 3 冠を達成するなど、多くの方にご利用いただいている。
- 技能グランプリ&フェスタ開催予算が大幅に増えた理由は何故か。
- 平成 30 年度、神戸で開催予定の全国グランプリ関連費用を兵庫県と折半するため。

以 上